



アイヌ民族の現在 1

# ラポロアイヌネイション

## RAPORO AINU NATION

2021年

6月22日(火)～7月4日(日)

開館時間:9:30-16:30 (7月は9:00-17:00)

月曜休館 観覧無料

会場:北海道立北方民族博物館ロビー

主催:北海道立北方民族博物館

ラポロアイヌネイション

浦幌町立博物館



浦幌町立博物館  
The Historical Museum of Urahoro

〒093-0042 北海道網走市字潮見309-1(天都山・オホーツク公園内)

Tel. 0152-45-3888 Fax. 0152-45-3889 e-mail tonakai@hoppohm.org URL <http://hoppohm.org>

施設設置者 北海道教育委員会(連絡先:北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課 代表電話 Tel. 011-231-4111)



2020年9月20日アシリチェブノミのあとで(浦幌十勝川河口)

# アイヌ民族の現在 1 ラポロアイヌネイション

ラポロアイヌネイション（旧浦幌アイヌ協会）は、北海道アイヌ協会（旧北海道ウタリ協会）の浦幌支部として1970年に組織されました。以来、地域に暮らすアイヌ民族の生活向上を目指し、長年に渡って活動してきました。

現在、会員の多くは浦幌町内で漁業に従事し、忙しい日常の合間を縫ってアイヌ民族としての活動を行っています。近年は過去に研究のため浦幌町内から持ち去られたアイヌ民族の遺骨の地域返還を実現し、2020年には伝統的な丸木舟を復元した上で、サケを迎え入れる儀式「アシリチェブノミ」を行いました。

浦幌アイヌ協会は先住民族としての自己決定権を有する集団になることを目指し、2020年7月に名称を「ラポロアイヌネイション」に変更しました。現在は特に、先住民族の権利として浦幌十勝川河口でのサケ漁業権の復活を目指しています。

本展は北海道立北方民族博物館、ラポロアイヌネイション、浦幌町立博物館の共催により、浦幌町からアイヌ民族の現在の取組みの一端を紹介します。



## 関連事業 ※都合により内容、日時は変更となることがあります。参加される方は電話にてお申込みください。

- 講座「ラポロアイヌネイションのこれまでとこれから」  
2021年6月13日（日）10:00-11:30  
（延期となりました）  
講師 差間正樹、長根弘喜（ラポロアイヌネイション）  
持田誠（浦幌町立博物館学芸員）
- 上映会「北方民族博物館シアター 夏」  
2021年6月26日（土）10:00-11:30  
講師 野口泰弥（北方民族博物館学芸員）
- 解説会「ロビー展解説会（アイヌ民族の現在1）」  
2021年6月27日（日）13:30-14:00  
講師 野口泰弥（北方民族博物館学芸員）



北海道立北方民族博物館（指定管理者：一般財団法人北方文化振興協会）  
〒093-0042 北海道網走市字潮見 309-1（天都山・オホーツク公園内）  
Tel: 0152-45-3888 Fax: 0152-45-3889  
<http://hoppohm.org/>